

くる “地域のつながり”



有志の住民などで構成され、区域内の住民なら誰でも参加できる組織です。催しています。実施方法の検討など、さまざまな工夫を行い活動しています。



星野順一郎市長



天王台北地区まちづくり協議会
塩畑博子副会長



我孫子北まちづくり協議会
平井保彦会長



湖北台地区まちづくり協議会
小倉宏也会長



布佐南地区まちづくり協議会
山本英雄会長

「寺家生活お助け隊」の活動を支援しています。お助け隊への依頼は、庭の手入れや買い物支援、スマートフォンの使い方指導など、これまでで1,000件を超えています。

山本さん 布佐南近隣センターにはテニスコートがあり、駐車場も40台分あります。最近是他地区の利用者が増え、地域の方が利用できないという課題があります。まち協の運営としては、近隣センターの利用団体の方が役員を担っていましたが、人員が減ったため、平成21年に役員による担当部制を取りやめることとし、総務・施設・管理・広報・企画



▲久寺家生活お助け隊の活動の様子

の5部制を廃止したところ運営が大変になったので、平成24年から事務管理部会と事業推進部会の2部制にし、現在は順調に運営しています。

小倉さん 私たちの特色は、11自治会で構成した湖北台自治会連合会との連携です。まち協の役員や、自治会を通じた近隣センターだよりの配布、自治会掲示板へのポスター掲示などにご協力いただいています。お祭りやクリスマスコンサート、ニュー



▲布佐南近隣センターのテニスコート

イヤーフェスティバルなど、**地域に根付いているイベントが多く**、地域の方も楽しみにしています。



▲湖北台クリスマスコンサート

塩畑さん 天王台北地区は5自治会なので連携が取りやすいです。近隣センターの近くに我孫子第三小学校があるので**子ども向けのイベントを大切にしていますが**、現在はコロナ禍のため開催できないのが残念です。新型コロナウイルス感染症が流行する前は子どもたちの元気な声が聞こえていました。



▲天王台北地区子どもサマーフェスティバル

平井さん 我孫子北地区は34自治会もあるので、「防災」をテーマとした活動で助け合いの関係を築いています。まち協発行の広報紙では、オリンピック・パラリンピックイヤーに合わせたポッチャやペタンクなどユニバーサルスポーツの特集や、地域のカフェやレストランを紹介するなど、広報にも力

を入れていきます。マンション群や並木・つくし野・我孫子という山あり谷ありの地形も特色です。

星野市長 自治会数が多いと地域のつながりをつくるのも大変ですよね。「防災」は地域のまとまりをつくるための良いテーマだと思います。**安全で安心な暮らしを続けるために「共助力」を高めることは大切です。**

新型コロナウイルス感染症の影響で、特色ある新しい活動を始めた地域はありますか？

松田さん イベントの開催中止により、地域住民とのふれあいや、まち協委員間の連携も薄れると考え、夏祭りの代わりに「はっけん あらきウオーラリー」を開催しました。神社や公園、自治会館などを回る4コースを作り、新木地区に住みながら一度も行ったことがないような場所も設けました。親子・きょうだい・友達同士など多くの方が参加してくれました。好評だったので今年も開催する予定です。また、自粛生活で運動不足の方もいると思い、バランスボールを使った体操も始めました。



▲我孫子北近隣センターだよりの第45号



▲はっけん あらきウオーラリー

星野市長 新型コロナウイルス感染症への対応が続く状況だからこそできるイベントもあると思います。まち協の皆さんには、これからも工夫して、さまざまな世代の方が楽しめる活動に取り組んでいただきたいです。

これからの「まち協」の在り方

星野市長 市では、平成元年から、地域の皆さんがまち協と近隣センターを通してコミュニティーづくりができるよう取り組んできました。30年以上経過し、地域活動への意識や生活スタイルの変化により、当時とは近所付き合いなども変わっています。これからのコミュニティーづくりにおけるまち協の役割は何だと思えますか。

藤原さん 近所同士で助け合い暮らしやすい環境をつくっていくための「共



▲午前の部(左から高橋会長、木野会長、松田会長、星野市長、松島会長、藤原会長)

次頁(8面)に続きます